

馬田保育園のワクワク宿泊体験活動事業 (幼児体験活動北筑後地域実行委員会)

1 プログラムの概要

(1) ねらい

- 自然とふれあう体験活動を通して、その楽しさを味わうとともに、興味・関心を持ち、自然を大切にする態度を養う。
- 宿泊体験活動を通して、家庭やいつも生活している環境から離れた場所で友だちや保育者・ボランティアの方々と過ごすことで精神的自立を促す。

(2) 期間・場所 平成19年9月7日(金)～9月8日(土)(1泊2日)

国立夜須高原青少年自然の家

(3) 参加者数 園児：31名 職員：6名

指導者：21名(地域ボランティア8名、学生ボランティア6名を含む)

(4) 日程

時間	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
7日(金)	保育園集合 8:30 保育園出発 8:45				入所式	草スキーでヤッホー	昼食	ネイチャーゲームで自然となかよし	三箇山の谷川で遊ぼう			夕食	夜の自然を探しよう	入浴	就寝		
8日(土)	起床 朝の集い 朝食 清掃			森に行こう、森で遊ぼう(前半)			昼食	森に行こう、森で遊ぼう(後半)			退所式	自然の家出発 15:45 保育園着 16:30					

(5) 主な活動状況

ア 草スキーでヤッホー(1日目10:00～11:30)

- 準備するもの 草スキー用ソリ
- 子どもの様子
 - ・スピード感や風の心地よさを感じながら楽しんでいた。
 - ・約束を守らないとケガにつながることを実感できた。
- 留意点
 - ・安全で楽しく活動するための注意事項を子どもたちに説明した。
 - ・子どもの様子を確認しながら活動を進めた。



イ ネイチャーゲームで自然となかよし(1日目13:00～14:45)

- 準備するもの
 - ・カモフラージュで使用する人工物(ぬいぐるみ、おもちゃ等)
 - ・フィールドビンゴ表
- 子どもの様子
 - ・自然の中でしっかり観察ができ、自然への興味関心が高まった。
 - ・フィールドビンゴでは、集団で行動する楽しさも味わえた。
- 留意点
 - ・カモフラージュでは、一人一人の子どもが、真剣に集中して、自然への発見ができるような静かな雰囲気作りに努めた。
 - ・次の日の活動にも繋がるように、ストーリー性を大切にしました。



ウ 三箇山の谷川で遊ぶ(1日目 15:15~16:30)

- 準備するもの 特になし
- 子どもの様子
 - ・プールでは味わえない水の冷たさと水の流れを楽しんでいた。
 - ・ボランティアの方とも打ち解ける機会となった。
- 留意点 子どもの様子を確認しながら、活動を進めた。



エ 夜の自然を探検しよう(1日目 19:00~20:30)

- 準備するもの 虫を集める装置
(仕掛け箱、蛍光灯、白地の布等)
- 子どもの様子
 - ・普段見たり触れたりすることのできない生き物と出会うことができ、感動していた。
 - ・プラネタリウムで学習した後、実際の星空を観察したり、夜景を楽しむことができた。
- 留意点 安全で楽しく活動するため、ゆっくりとしたペースでおこなった。



オ 森に行こう、森で遊ぶ(2日目 9:00~15:00)

- 準備するもの
 - ・森の中で読み聞かせする絵本
 - ・森の精“グリリン”の衣装
 - ・隠れ家づくりに必要な道具
(ゴザ、布、ひも、テープ類、のこぎり等)
- 子どもの様子
 - ・森の精“グリリン”の登場、メッセージが、素直に子ども心に響き、その後の隠れ家づくりから後片づけまで意欲的に活動できた。
 - ・他のグループを見学したり遊んだりしながら、いいところを自分たちに取り入れたりすることができた。
- 留意点 ボランティアの的確な支援により、物作りの知恵や道具の使い方を学べるようにした。



2 子ども・保護者等の感想

(1) 子ども

- 「お姉ちゃんたちに本を読んでもらって、みんなでならんで寝たよ。」
- 「山を散歩していたら本当にグリリンに会ったよ。」
- 「真っ暗な山の中で耳を澄ましたら、虫の声がいっぱい聞こえたよ。」

(2) 保護者

- 「家に帰って、よほど楽しかったのか、ずーっと2日間の出来事をひたすらしゃべってくれました。すごく目がキラキラしていて大満足の様子です。大自然の中できっと色々なことを学んでくれたようです。将来大きくなったとき、きっと何かが違うはずですよ。体験活動に参加させてもらって感謝しています。これからも続けてほしいです。」

3 成果と課題

(1) 成果

- 自然物への興味・関心が高まり、実体験により「観察力」が高まった。
- 様々な人との関わりによって、「人間関係力」が高まった。

(2) 課題

- 子どもの自主的・創造的な活動を促す大人の支援の在り方を、さらに工夫する。